

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2017～2018 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「いま結束のとき！ 目指そう、新たなる境地!!」



ロータリー：
変化をもたらす

◆会長 中田 専太郎 ◆幹事 谷口 欣也 ◆会報委員長 大原 誠 ◆会報担当 村瀬 祐治

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	会長支持率
本日 1160 回	56 名	56 名	42 名	—	75.00%
前々回 1158 回	56 名	56 名	46 名	2 名	85.71%

節分例会

<飛騨総社にてお祓いとご祈禱>



1 年を過ごすうちにはいろいろなものを背負い込むのでしょうか？こうして厄払いをしていただきますと、何やら肩が軽くなったような、そんな気がいたしておるところです。

ところで、節分というのは年に 4 回あるということです。それぞれに季節の分かれ目である立春、立夏、立秋、立冬の前の日が節分にあたるということですが、中でも新しい春を迎えるこの節分は、特に大切なように感じられます。そんな季節の節目に思うことなのですが、私的なことではありますが、当時の会長である山本さんに拾って貰って幹事をさせてもらうようになるまでは、非常に後ろ向きなロータリアンでした。勿論、幹事になってからは、ロータリーに対する考え方も随分違って来たわけですが、そんな後ろ向きで、ネガティブだった人間が、こうして会長になった途端に、皆様に「ああして欲しい」「こうしておくれ」「協力をお願いする」などと言っているわけですから、甚だおこがましい次第ではあります。しかしながら、残念なことに過去を今更修正するワケにはいきません。節分という気持ちを新たにする場面で硬く思うことは、過去を修正する代わりに、これからの将来に向かって前向きで、協力的なロータリアンになることを強く思っております。

どうか皆様、恐縮ながらその意を汲んでいただきつつ、更なるご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。どうか、この後の懇親会を十二分にお楽しみ下さいませ。

<親睦活動委員長挨拶> 委員長 今井 俊治

本日は会員の皆様にはお忙しい中、多数節分例会に参加いただき、ありがとうございます。

本年還暦となられます高木純さん、新会員の小出貴博さんに加え、後厄となられます田中雅昭さん、高原清人さん、渡辺甚一さん、古希をむかえられます久々野国良さんらにより、素晴らしい余興を計画していますので、ゆっくりと楽しんでいただければと思います。

また、皆さんで持ち寄っていただきました商品によるオークションも開催させていただきますので、盛り上がっていただければと思います。

会員の皆様のご健勝を祈念して委員長挨拶とさせていただきます。

今晚はどうぞよろしくお願いいたします。



<山陣にて節分例会>



司会進行
津田 久嗣

<点 鐘>

会長 中田 専太郎

<会長の時間>

会長 中田 専太郎

皆さん今晚は、

本日の節分例会におきましては、親睦委員会の今井委員長を始め、担当者の皆様には設営お疲れ様です。

只今は、飛騨総社様にて、本厄の高木さん、また新会員の小出さんを始め、私を含め会員の皆様と事務局の河上さんの厄払いをしていただきました。誠にありがとうございました。

<年男・厄年の方の抱負>

高木 純

還暦など他人事と思っていましたが僕にも来ました。今日まで生きてこれられてありがとうございます。母に生んでくれてありがとうございます。妻にいつも食事を作ってくれてありがとうございます。当クラブに入れてよかったです。これからは爽やかな人になりたいです。



<オークション>



<乾杯>

副会長 坂之上 健一



<めでた>

次期会長 高原 清人



<歓談風景>



<余興>

年男・厄年・新会員の皆様



<中締め>

直前会長 田中 雅昭



余興見学風景



<点鐘>

会長 中田 専太郎